

公益社団法人 日本記者クラブ

2026年度事業計画

自 2026年4月1日
至 2027年3月31日

日本記者クラブは、定款に定める目的に沿って以下の事業計画を実施します。

1. 内外の要人、専門家などを招いて記者会見、講演会を行います。その報道と公開を通し、国民の知る権利に応えます。開催にあたって引き続きオンラインを活用し、参加者、登壇者の幅を広げます。
2. 会員の報道活動の促進および職業倫理の向上をはかるため、記者ゼミ、研修会、見学会を開催し、取材団を派遣します。開催にあたって引き続きオンラインも活用し、参加者、登壇者の幅を広げます。
3. 取材、報道あるいは評論活動などを通じてジャーナリストとして顕著な業績をあげ、ジャーナリズムの信用と権威を高めた記者、取材班などを顕彰するため、日本記者クラブ賞、および同特別賞を選考し、表彰します。
4. 「日本記者クラブ会報」を毎月発行し、事業活動と行事を記録します。会員間のコミュニケーションの場としても利用できるようにします。
5. 会員だけでなく、インターネット利用者がクラブの活動に幅広くアクセスできるよう、ウェブサイトを運営します。会見動画や会見レポートを記録し、公開します。必要のある場合は会見のやりとりを文字おこしし、全文保存し公開します。
6. 会員間あるいは会員と内外のニュースソースとの接触と交流を広げるため懇親会を開きます。
7. 大学または大学院でジャーナリズムを学ぶ学生会員の参加を促し、ジャーナリズム活動を理解する次世代の育成に貢献します。

日本記者クラブの公益社団法人としての「公益目的事業」は①内外の要人を招き、記者会見などを開催し、国民の知る権利に資する②すぐれた業績をあげたジャーナリストに日本記者クラブ賞を贈る③日本記者クラブ会報を発行し、インターネットを通じて良質な時事情報を開示し、重要な会見を全文保存し公開する——の3分野です。